

# 『おおおいしだめとんとむがすあつたけど』③2

## さんこきつね その1

とんと昔あつたけど。

裏の里の山さ『さんこきつね』ていうきつねが住んでいただけ。ほのさんこきつねあ、夜にさえなつて、毎晩村さ下つてきて、栗だの柿だの大根だのみな食い荒らしていつて、腹一杯なつて、洗濯したたらいばひっくり返して、尾っぱの太いどころでドンドコドンて、たらいの底が破けるぐらい叩くまで、うるさくてしょうがないけど。ほれで村の人あ困つて、食い物さえなえずどきつねあ来ぬなつさげ、みんな寝つどき、きつね食うよななもの家ん中さ入つて寝るごにすつべつてなつて、みな家ん中さ入つて寝だけ。次の日も、さんこきつね来て、家のまわりをグルグルグルグル回つて見だけんと、何も食う物なくなつたなだけ。

ほの頃、里の村の入口さ、お寺さんがあつたけど。ほのお寺さんには和尚さんと小僧が住んでいただけ。お寺さんでは、朝、寺のまわりの祠さ、飯と、珍しいものが季節のものが出たときには、必ずあげておまいりすなだけ。はいず、さんこきつねが見つて、大喜びで飯だの果物だの食つていぐなだけ。毎日毎日お寺さんさ来ては、腹いっぱいなるまで食つて帰んなだけ。

ある時、夕方、小僧が庭の掃除したどき、さんこきつねが来たなと思つていければ、三びきの子きつねあついで来たけど。小僧あ、  
「めんごいちゃ、めんごいちゃ。ちえつと待つてろ。」

て言つて、昼間、和尚さんからまんじゅうもらつたな、ほのまんじゅうば三つに分けて食へだけ。ほしたら、三匹の子きつねあ喜んで食つて、小僧の手までペロペロでなめで、帰つていつたけど。和尚さんさ、

「和尚さんからもらつたまんじゅう、きつねの子どもがついで来たけさげ、めんごくて三びきさ分けて食へでやつたはあ。」  
て言たええ、和尚さんは、

「小僧、小僧。きつねさ、ほだい旨いもの食へではだめだ。明日から食へでだめだ。きつねさ旨いもの食へつずど、人間から貰つて食うものだと思つて、ひとりして食い物をとらぬなつさげ、自分で、どさ何あつか分がらぬなつさげ、きつねさ旨いもの食へでだめだ。」  
て、小僧さ言つたけど。小僧は、

「はい。」

て次の日から毎日、きつね来ぬうづ片付けでいだけ。ほしたらまだ、きつねあ、子きつね連れできて、グルグル回つたげんと、何ひとつ食うものないなだけ。子きつねはコンコンコン腹減らして啼ぐし、さんこきつねあ、何したええて、山さ行つて考えだ。ほして、子きつねば金の茶釜に化げらへで、自分が商人に化げで、かんばん着てねじり鉢巻きして、金の茶釜をお寺さ売りに行くごにした。

(つづく)

○出典『大石田のとんとむがす』

(大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

### 町の人口 令和6年2月1日現在

世帯数	2,234戸	(±0)
総人口	6,112人	(-12)
男	3,033人	(-10)
女	3,079人	(-2)

### (1月中の異動)

出生	1人	転入	7人
死亡	10人	転出	10人

※この人数は外国人も含めたものです。

## 防災放送の内容を 電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

**確認ダイヤル: 0237-48-8444**

■総務課総務グループ Tel.35-2111 (内線218)

## 大石田町公式アカウント開設

## LINEはじめました

防災情報や各種行政情報を受け取ることができます。

**友だち登録をお願いします!**

### 登録方法

右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。



大石田町公式LINE